

リベラル・アーツの 「言語」と「文化」

日時：2026年 3月 7日(土) 16:15～18:00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

※対面開催のみ（オンライン配信の予定はありません）

講師：松浦 良充 君（慶應義塾常任理事・大学名誉教授）

この講演では、「リベラル・アーツ」という概念を、主として「言語」と「文化」という視点から捉え直すことによって、その歴史的な形成過程と現代的な意味、さらには将来的な可能性について考えます。この概念は、教育のあり方をめぐる議論において、特に大学にかかわる「理念」としてしばしば言及されます。また現代では、経営者など社会人にも重要な「教養」として提唱されることも少なくありません。この概念自体は、周知のように古典古代に由来する歴史的な形成過程を背景にもっています。大学は800年の歴史をもちますが、それよりもはるかに長い伝統をもつことばです。しかも現在に至るまで多くの場合それは、教育・学習における「マジック・ワード」（日本語用法）つまり「殺し文句」として、肯定的・積極的に用いられてきました。しかしながら、というか、だからこそ、この概念は多義的で曖昧です。ときには相反する意味合いで用いられることも少なくありません。そこで、この歴史的な概念をその中核をなす「言語」と「文化」という要素に着目して解きほぐすことによって、これからの大学の学びの有意義な指針とするための議論ができれば、と願います。

参加費：無料

事前申込制：<https://www.icl.keio.ac.jp/news/2026/01/202537.html>

参加を希望される方は、研究所ホームページもしくはQRコードよりお申込みください
準備の都合により事前申込をお願いしておりますが、お申込みいただかない方の
当日参加も可能です

